

課題

(写真：福山市提供)



中心市街地
中山間地域
地域課題を
先端技術を活用して解決

- 公共交通の利用者減少やドライバーの人手不足による路線バスの減便・廃止に対応した移動手段の確保が課題である
- 駅前から市内の観光地にアクセスするための新しい移動サービスの確立が課題である
- 医療など持続可能な生活サービスのモデル構築が課題である

推進体制



課題解決に向けた取組

(写真：福山市提供)

「先端技術によるまちづくり官民協議会」と
「実証実験まるごとサポート事業」の両輪による先端技術の活用推進

➢ 先端技術を活用した地域課題解決をめざす「先端技術によるまちづくり官民協議会」と、企業の技術やアイデアを活用した実証実験を支援する「実証実験まるごとサポート事業」により、新たな価値の創造による好循環を生み出し、未来をリードする都市を実現

- **オンデマンドモビリティ及び自動運転**：路線バスの維持が困難な中山間地域や交通不便地域へのオンデマンドモビリティの実装などによる交通弱者の移動支援
- **福山駅周辺での人流解析及び情報のレコメンド発信**：JR福山駅周辺での人流解析や情報のレコメンド発信によるにぎわい創出や消費喚起
- **キャッシュレス決済**：公共施設や市内イベント会場等での試行によるキャッシュレス決済の普及及び地域経済の活性化
- **医療情報自己管理アプリ**：自らの健康状態を把握できる各種サービスやアプリの実装による市民の健康意識向上 など



オンデマンドモビリティや
自動運転バスの実装



人流解析・
情報のレコメンド発信



公共施設などでの
キャッシュレス決済試行・普及

2021年度の
主な取組

- 【モビリティ】： オンデマンド乗合タクシー事業について、広域エリアでの実証実験や導入エリアの拡大を実施
- 【モビリティ】： 一部の閉鎖空間において、レベル4を想定した遠隔監視による無人自動運転の実証実験を実施
- 【ヘルスケア】： スマートフォンやスマートウォッチ型のウェアラブル端末を活用した健康増進アプリの実証実験を支援

取組内容

(写真・図：福山市提供)

オンデマンド乗合タクシー実証実験 (①2019年10月1日～2020年3月31日
②2019年11月5日～2020年3月31日
③2020年10月1日～2021年9月31日)

@服部地区、緑陽地区、
芦田地区など

①服部地区でのオンデマンド乗合タクシーの実証実験

…空いているタクシーをスマートに活用する有償での乗合タクシーの実証実験を実施
複数のタクシー会社での乗合事業や利用状況などを検証



服部地区での実証実験の様子

②緑陽地区でのオンデマンド乗合タクシーの実証実験

…郊外の高台団地のモデル地区である緑陽地区において、スマートフォンアプリ予約に
限定をした乗合タクシーの実証実験を実施



緑陽地区での実証実験の様子

③広域エリアでのオンデマンド乗合タクシーの実証実験

…複数地区をまたぐモデルと既存地区からの拡大モデルを検証【対象地区①有磨・
福相・宜山学区の隣接する3地区（人口1万人規模で複数地区をまたぐモデル）
②服部地区に隣接する駅家町弥生ヶ丘（既存の導入地区を拡大するモデル）】

自動運転実証実験 (2022年3月22日～3月24日)

@市内中心部

①閉鎖空間におけるレベル4を想定した無人自動運転の実証実験

…バス型の自動運転車両を利用し、福山駅前バス乗り場とエフピコアリーナ
（福山市総合体育館）を結ぶ区間で自動運転の実証実験を実施
…一部の閉鎖空間（「みらい創造ゾーン」内）において、レベル4を想定した
遠隔監視による無人自動運転の実証実験を実施



バス型自動運転車両



遠隔監視のイメージ

取組内容

(写真・図：福山市提供)

キャッシュレス決済の普及促進

①2020年1月～
②2020年9月、2020年12月～2021年1月、2021年12月～2022年1月
③2021年4月1日～

➤ 全庁的な導入を見据えた公共施設におけるキャッシュレス決済の試行のほか、コロナ禍における消費喚起とキャッシュレス決済のさらなる普及を目的としたキャンペーンを実施

①公共施設窓口におけるキャッシュレス決済の試行

…福山城博物館など市の文化観光施設4施設の窓口で、QRコード決済を試行。新型コロナウイルスによる休館や利用者減などの影響があったものの、本格的に導入する際の課題整理などを行った

②市内での普及促進キャンペーン

…消費の喚起とキャッシュレス決済の普及促進のため、9月は市内850か所の飲食店で、12月は市内5000か所の飲食店・小売店・サービス業等で「PayPay」での決済に還元を行うキャンペーンを実施

…翌年12月には、対象決済方法を「au PAY」「d払い」「PayPay」の3社に拡大し、飲食店・タクシー等でキャンペーンを実施
期間中は、市内のキャッシュレス決済実績が大幅に伸び、新たにキャッシュレス決済を導入する店舗が増加するなど、キャッシュレス決済の普及につながった

③市税・料金等がスマホ決済アプリで支払い可能に

…スマートフォン決済アプリ（「PayPay」、「LINE Pay」、「PayB」）で市税及び保険料、保育料などの支払を可能にした。市役所の窓口やコンビニエンスストア、金融機関等へ行くことなく納付手続きが可能となった



取組内容

(写真・図：福山市提供)

自らの健康状態を把握できる各種サービスの実証実験

- ① 2020年2月～2020年12月
- ② 2018年12月3日～2020年12月2日
- ③ 2021年3月22日～2022年3月末（予定）

➤ 地域課題の解決に資する企業の実証実験を市が支援する「実証実験まるごとサポート事業」として、PHR※を見据え、自らの健康状態を把握できる各種サービスの実証実験の実施を支援

① 見守りライトを活用した認知機能の低下等を予見する実証実験

〔期間〕2020年2月～2020年12月

…高齢者の自宅トイレにSIM付きLED電球を設置し、ライトのオン・オフによる見守りと併せて、認知機能の低下等の兆候をAIが予測する実証実験を支援し、50世帯が参加した

② 医療情報自己管理アプリの実証実験

〔期間〕2018年12月3日～2020年12月2日

…医療機関が保持する患者の医療情報をスマートフォンなどで患者本人が管理できるサービスなどの実証実験を支援。市内3病院で800名以上が参加し、実証実験結果を基に2021年1月から正式実装した

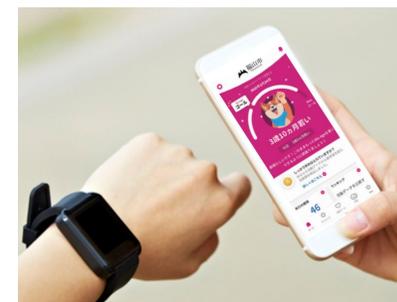


医療情報の自己管理で健康行動やコミュニケーションを促進

③ スマートフォンやスマートウォッチ型のウェアラブル端末を活用した健康増進アプリの実証実験

〔期間〕2021年3月22日～2022年3月末（予定）

…専用の健康増進アプリを用い、歩数などのデータから算出される「実年齢からの若返り年齢」に応じて付与されるポイントをクーポンなどの特典と交換できるようにすることで、ウォーキング等の運動を促したり、参加者に対し、安静時心拍数や睡眠時間などのデータをもとに、体調変化の予兆を通知する実証実験を支援。約1,400人がアプリを登録



アプリ使用時のイメージ

※PHR：「Personal Health Record」の略。診療や投薬の記録や運動実績、身長や体重などの健康関連情報を一元管理する仕組みのこと。生涯型電子カルテ